

磐梯山登山道の利用状況（2013）

【目的】 磐梯山における登山道の自然保護、整備箇所、危険箇所、継続確認箇所の観測

- 【結果】
- 自然保護 (1)(2) 携帯トイレの回収ボックス
 - (3) 山頂付近の用便跡
 - (4) 弘法清水付近の用便跡
 - (5)(6) お花畑踏み込み跡
 - (7) 黄金清水付近の踏み込み
 - (8) 植物盗掘、搾取
 - 整備箇所 (1)(2) 翁島コースの道標の老朽化
 - (3) 翁島コースの地点表示の不明確
 - (4) 翁島コースの標識・説明板不足
 - (5) 猪苗代コースの沼ノ平の道標老朽化
 - (6) 猪苗代コースの沼ノ平付近の登山道の壊れ
 - (7) 渋谷コースの道標老朽化
 - 危険箇所 (1)(2) 翁島コース・大岩滑落中止
 - (3) 翁島コースの鎖、ロープの箇所
 - (4)(5) 火口の土石流
 - (6)(7) 火口のルート不明確
 - 継続確認箇所 (1)(2) 銅沼の水量
 - (3)(4) 火口の植生分布

【考察】 磐梯山は深田久弥氏の日本百名山に数えられ、年間3万人近くの登山者が訪れる。このため、登山者の安全上から危険箇所の整備及び道標等の整備が必要である。

磐梯山は国立公園に指定されていることもあって、自然保護上からの監視が重要であろう。また、日本ジオパークに認定されたことから極め細かな道標や説明板の設置が望まれる。

噴火から120余年が経ったことから、地形や植生の変化についても観察していく必要があるのではないかとと思われる。

【観察】 (1) 期 日

平成24年 6月 1日 7月14日 8月 2日 8月13日 8月22日
9月14日 9月17日 10月 2日

(2) 調査者 江花俊和（猪苗代山岳会会長、裏磐梯エコツーリズム協会
いなわしろ伝保人会）